

「女体化暗示文

」

へえ。  
あなた。  
オンナノコになってみたいの？

あなたが私の言うことさえ、きけるのなら  
きっと可愛い女の子になれる。  
だってあなたは心の底から女の子になりたいんですもの。  
だからあなたが女の子になるのはあたりまえ。  
そうでしょう？

じゃあ、まずはソファやベッドに横になってみましょう。  
横になって、力を抜いてくつろいで。

ゆっくりと深呼吸をしてみましょう？

すって～。  
はいて～。  
すって～。  
はいて～。  
すって～。  
はいて～。

実はこの部屋には特製の香水を漂わせておいたの。  
いいにおいがどこことなくしているのに気づかない？

すって～。  
はいて～。  
すって～。  
はいて～。  
すって～。  
はいて～。

だんだん頭がぼんやりしてくるでしょう？」

体がなんとなく火照ってきて。  
だんだんおなかの奥が熱くなる。  
少しおかしいことだけど、香りを吸い込むのが気持ちよくて、  
どんどん止められなくなってしまう。

この香水は娼婦の汗からつくられているの。  
あなたの体の中に娼婦の成分が染み込んでいく、  
娼婦の甘い香りに体をずっと包み込まれていたい。  
まるで自分が娼婦になってしまったような気分になりながら、  
あなたは匂いを吸い込むのを止められなくなる。

すって～。  
はいて～。

吸えば吸うほど体がフワフワと気持ちよくなっていく。

すって～。  
はいて～。

吸えば吸うほど体から力が抜けていく。

すって～。  
はいて～。

腕が上がらなくなる。

すって～。  
はいて～。

指先に力が入らなくなる。  
脱力していくのが気持ちいい。

すって～。  
はいて～。

香りを吸い込むのが気持ちいい。

すって～。  
はいて～。  
すって～。  
はいて～。

あなたの体はもう、力が入らない。  
自分で起きあがることなんて、とてもできない。

今からカウントダウンしていきます。  
ゼロになると、あなたの体は男性としての成分をすべて放出して女性になってしまいます。

10

あなたのおちんちんが娼婦の香りに包まれていきます。  
あなたのおちんちんに、  
娼婦の香りがきゅうきゅうと絡みつきます。  
根本を。  
裏筋を。  
カリ首を。  
亀頭を。  
おちんちんのあらゆる場所を、  
あますところなく、締め付けてきます。  
あなたの股間がだんだん熱を帯びていく。

9

娼婦の香りがぎゅうっとあなたのおちんちんを締め付けて。  
強く、強くこすりあげる。  
けれど、痛みは感じない。

おちんちんが熱く固くなっていく。  
頭がぼうっとしてきて、  
なにも考えられなくなっていく。  
体中の血液がおちんちんにあつまって、

頭がぼんやりしてしまう。

8

頭の中がぼんやりしてくる。

なにも考えられなくなっていく。

自分の体の輪郭がだんだんわからなくなっていく。

7

おちんちん以外の体の部分がだんだん柔らかくなっていく。

体が柔らかくなっていく。

あなたの脳味噌が、体が、

クリームみたいにとろけていく。

とろけていく。

とろけていく。

とろけていく。

体がとろけていくのが気持ちいい。

おちんちんが熱くなるほど、体がとろけるのがきもちいい。

脳味噌がとろけていくのが気持ちいい。

6

娼婦の香りに包まれた全身が熱くなる。

体がとろけていく。

のうみそとろけるのが気持ちいい。

もっととろけてしまいたい。

5

あなたの記憶がとろけていく。

これからしようと思っていたことがわからなくなっていく

昨日のことが思い出せなくなっていく。

昔のことが思い出せなくなっていく。

あなたの記憶がとろけて、

おちんちんに集まっていく。

4

あなたの中にある男の子の成分がとろけていく。  
おちんちんが娼婦の香りに刺激されるほど、  
あなたの中の男の子らしい部分がおちんちに吸い取られて、体から消えていく。  
男の子らしさが、すべておちんちに集まっていく。  
体から、男の子らしさが消えていく。

### 3

髪の毛が柔らかく、さらさらになっていく。  
髪が腰までするすると伸びていく。  
ムダ毛がなくなっていく。  
肌がきめ細かく、なめらかに変わっていく。  
腰が細くくびれていく。  
乳首が疼き、少し痛くなってくる。

### 2

指が細く白く、華奢になっていく。  
胸が少し張ってくる。  
体が華奢になっていく。  
唇が小さく赤く色づいていく。  
骨盤が横に広がり、お尻が大きくなっていく。  
顎が細く小さくとがる。  
太股がムチムチと弾力を帯びてくる。  
目元が潤み、まつげが長く伸びてくる。  
胸が膨らんでくる。  
胸がだんだん、大きく重くなっていく。  
胸の重さが体を圧迫するような感覚が走る。  
あなたの体はもう、おちんちん以外はどこからどうみても女の子。  
もう、おちんちん以外、あなたはほとんど女の子。  
胸が大きくて、腰がくびれて、足がムチムチした女の子。  
目元を色っぽく潤ませて、頬を紅潮させて、  
なぜか自分から生えたおちんちんは娼婦の香りに包まれて、  
男の子成分を今にも吹き出してしまいそう。

おちんちんが熱くなる。  
もういきそう。  
いってしまいそう。  
イってしまったら男の子の成分が全部出て行っちゃうのに。  
イってしまったら、今まであなたを作り上げてきた男の子の部分が全部なくなっちゃうのに。  
イってしまったら本当に女の子になっちゃうのに。  
あなたのおちんちんはどんどん熱くなっていく  
男の子成分をはきだしたくてたまらない。

もういっちゃう。  
男の子の成分全部でちゃう。  
男の子じゃなくなっちゃう。  
女の子になっちゃう。

1

イっちゃったら、本当に女の子になっちゃうのに。  
乳首が服と擦れて気持ちいい。  
おちんちんから感覚がなくなっていく。

いっちゃう。  
いってしまふ。  
もういっちゃう。  
いってしまふ。  
女の子になっちゃう。

もういっちゃう。  
男の子の成分全部でちゃう。  
男の子じゃなくなっちゃう。  
女の子になっちゃう。

0

絶頂する。  
絶頂する。

絶頂する。

0

射精とともにあなたの体から男の子の成分がほとばしる。  
あなたの体から完全に男の子らしさや男の子としての経験すべてが抜け出ていく。  
あなたの男の子としての成分すべてが消えていく。  
おちんちんが、どんどんちいさくなっていく。

おちんちんはもう、小指の先ほどにまで縮んでしまう。  
感覚がしだいに変わっていく。  
あなたの股間に割れ目が生まれ、  
あなたのお腹の内側がそれをきゅうきゅうと疼きはじめる。  
体の中に空間が作られていく。  
お腹の中が熱くなる。

あなたの体の内側に膣と子宮が生まれる。  
あなたの下腹部は女の子になれた喜びの快感を伝えてくる。

さあ、あなたはもうすっかり、どこからどう見ても女の子。  
それも、エッチなことをどこかで期待している、  
少しスケベな女の子。

さあ、楽しんできたら？  
せっかく女の子になったんだもの。

## 「暗示解除文」

よしよし、おかえりなさい。  
女の子として楽しんできたみたいだね。

じゃあ、そろそろ元に戻ろうか。

まずはゆっくり深呼吸して～。

すって～。  
はいて～。  
すって～。  
はいて～。

そうそう、そんな感じで続けてね♪

じゃあ今度は数を数えていくね。  
いつつ数えるとあなたは元の姿にもどる。

1

さて、あなたはそもそも女の子だったのでしょうか？  
もっと馴染んだ体や考え方、呼ばれ馴れた名前があったのではないのでしょうか？  
少しずつでいいから思いだしてみましよう。

2

さあ、そろそろ意識がはっきりしてきます。  
あなたがいまどこにいるか考えてみましょう。  
体の輪郭はどうですか？  
空気はどうですか？  
今いる場所の匂いや、周りの音に気を配ってみましよう。

3

体に力が戻ってきます。  
手を握ったり開いたり、  
足を少し動かしてみましよう。  
そうしているうちに、元通り自由に動かせるようになっていきます。

4

意識がもっとはっきりしてきます。  
あなたはもう、自分が誰なのかはっきりとわかりますし、予定や思い出も思い出すことができます。  
です。

5

さあ。あなたはもう、すっかり元のあなたに戻りました。  
体や意識がまだぼんやりするようでしたら、  
しばらくそのまま横になって、のんびりしてみましょう。  
すぐに元の感覚にもどれるはずですよ。

おつかれさまでした。